



# 防災だより 2022年8月号

第36号  
 令和4年8月31日発行 関ヶ谷自治会 防災部/防災ボランティア・グループ  
 ☆防火チーム☆情報・通信・電気チーム☆食料・物資チーム☆医療・介護チーム ☆防災資機材取扱チーム 自治会館 ☎784-4447

## 災害時下水直結式仮設トイレ (通称：災害用はまっこトイレ) が設置されます

### §. はまっこトイレとは

横浜市は現在、地域防災拠点などに仮設トイレ用の下水道管を設置し、「災害時下水直結式仮設トイレ (通称・災害用ハマッコトイレ)」の整備を進めています。西金沢学園地域防災拠点への設置は、すでに工事が始まっていて本年度中に完成予定です。

はまっこトイレは、下水道が使えることが前提ですが、普段使っているトイレとほぼ同じように使用することが出来ます。し尿を下水に流すには、学校のプールに貯めた水を使います。

### §. はまっこトイレの特徴

#### 1.高い耐震性

仮設トイレ用の下水道管は耐震性の高い管を採用しています。

#### 2.衛生的

下水直結式仮設トイレは、使用後に直接下水道に流すことができ衛生的です。

#### 3.バリアフリー設計

設置する仮設トイレのうち1台は障害者の方でも安心して使用できるように設計されています。また、すべての仮設トイレで入口の段差がない洋式トイレを採用していますので、高齢者の方も安心して使用していただけます。

#### 4.高い節水効果

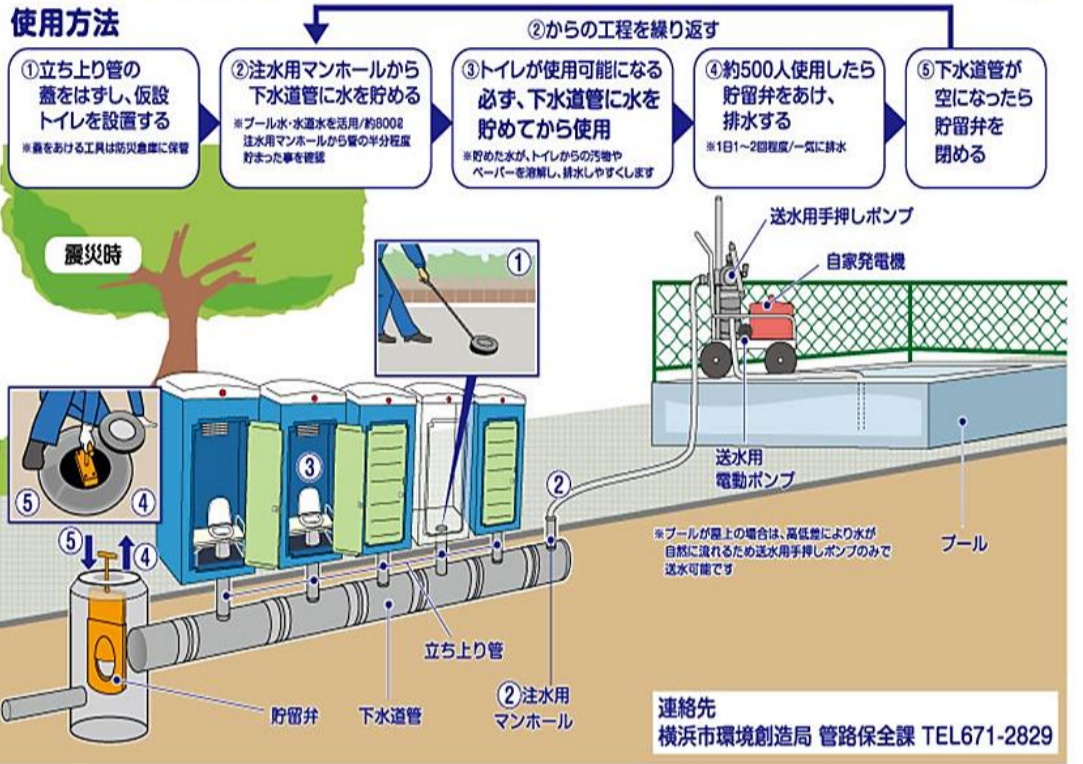
通常の水洗トイレの排水には1回8ℓ～10ℓの水が必要です。この下水直結式仮設トイレでは約500回使用後に800ℓで排水しますので、1回当たりの水使用量は1.6ℓ程度となり、通常の必要水量の5分の1から6分の1程度で排水できます。

### §. その他非常時災害トイレ

- 簡易 or 携帯トイレ：断水、停電、排水不可の状況であっても使用可能。既存の室内トイレ設備（便器等）を活用するために、新たなスペース確保や器具等が不要
- 仮設トイレ：繰り返し使用しても耐えるように堅牢な造りでできている。日常的に建築現場やイベント等で利用されていてなじみが深い。し尿をバキュームカーなどで処分する必要がある

## 災害時下水直結式仮設トイレ案内

ここには、仮設トイレ用下水道管が設置されています



設置後のイメージ

## 民生委員の日常・・・ “緊急カード”をお配りしています。

第三地区民生委員 平嶋 君代

今年の夏は本当に暑い日の連続でした。皆様お変わりなくお過ごしでしたか。

民生委員は、お一人暮らしの高齢の方々を、年に2～3回訪問してお声掛けするのを主な活動にしています。7月から8月にかけて今年2回目の訪問をいたしました。「暑いですがお元気ですか？」と聞きますと「元気よ。大丈夫。」とお答えいただきます。すると安心して次の方へすすめます。中には「この暑い中、あなたこそ大丈夫？」と気遣って下さる方もあり恐縮してしまいました。

今回は『救急は119番 (緊急カード)』という印刷物を、お渡しいたしました。これは救急車を呼んだ時、身体に関する情報提供がすぐできるように、あらかじめ書き込んでおくカード (図参照) です。氏名、生年月日、緊急連絡先、既往症やかかりつけ医などの機微な項目は紙を折って普段は見えない工夫があります。本カードを家の中の目立つ場所 (冷蔵庫や玄関ドアなど) にマグネットなどで貼っておくと、イザの時に役に立ちます。

ご希望の方は自治会館にあらかじめご連絡いただければコピーして配布いたします。

暦の上ではすでに秋！暑さを乗り越りきり美しい秋を迎えたいものですネ。



救急は119番			
住する事「私の住所は横浜市金沢区金沢西 丁目 番 号です。」			
救急隊への情報提供カード			
ふりがな	氏名	生年月日	性別 年 月 日
自宅電話	( ) -		
携帯電話	-		
緊急連絡先			
氏名	電話番号	続柄	
山折り			
病歴等 既往症	<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り 何のアレルギーか		
かかりつけ医			
名称	電話番号		
名称	電話番号		
名称	電話番号		
日常生活動作	歩行 <input type="checkbox"/> 全介護 <input type="checkbox"/> 一部介護 <input type="checkbox"/> 自立	食事 <input type="checkbox"/> 全介護 <input type="checkbox"/> 一部介護 <input type="checkbox"/> 自立	排泄 <input type="checkbox"/> 全介護 <input type="checkbox"/> 一部介護 <input type="checkbox"/> 自立
<small>上半分を必ず書き入れ、冷蔵庫等の目立つ場所に貼ってください 作成: 関ヶ谷自治会 民生・児童委員</small>			

### ”災害・緊急時に役立つ！”防災アプリのインストール率が48%に上昇 最もインストール率が高いアプリは？

NTTドコモ モバイル社会研究所は7月21日、2021年10月に実施した「防災に関する調査」の結果を公表しました。調査は、全国の15～79歳の男女を対象にWeb上で実施されました。有効解答件数は9,072件です。

2022年の防災アプリインストール率は48%に防災アプリをインストールしている人の割合は年々増えています。

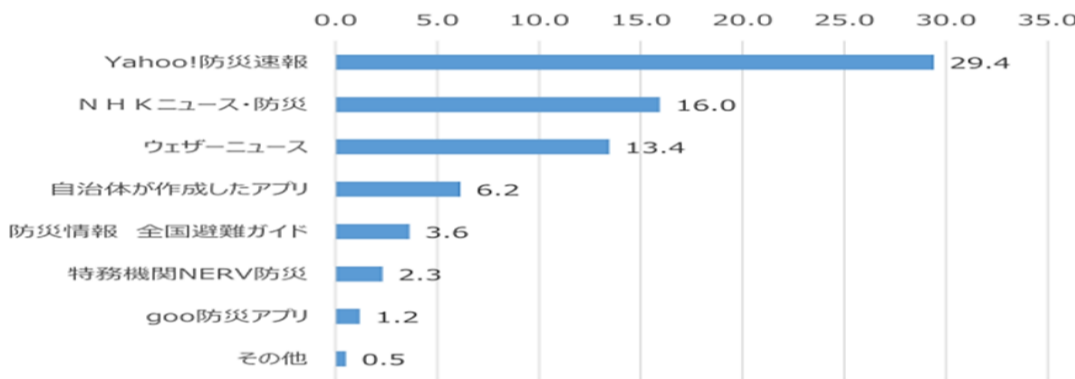
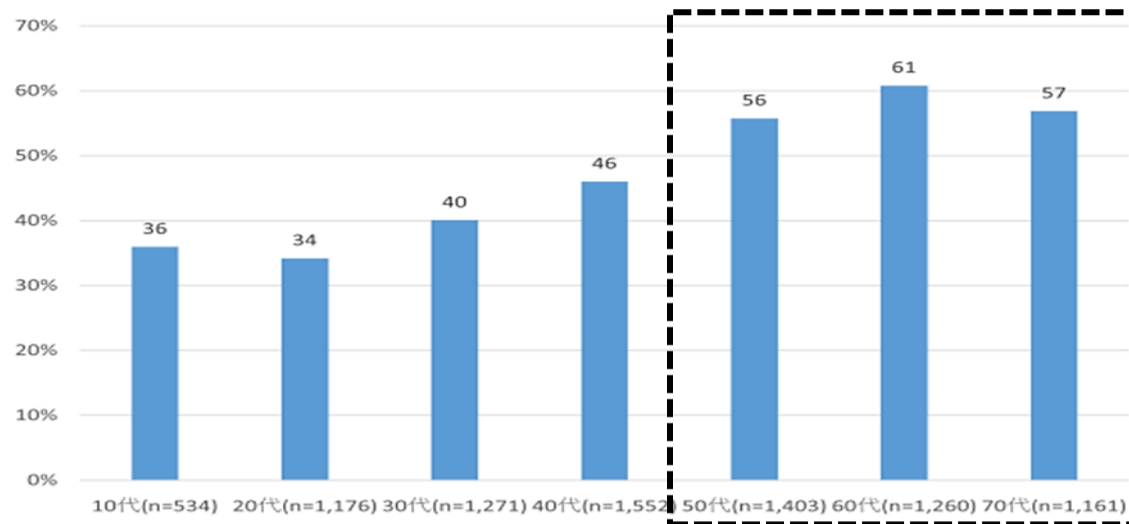
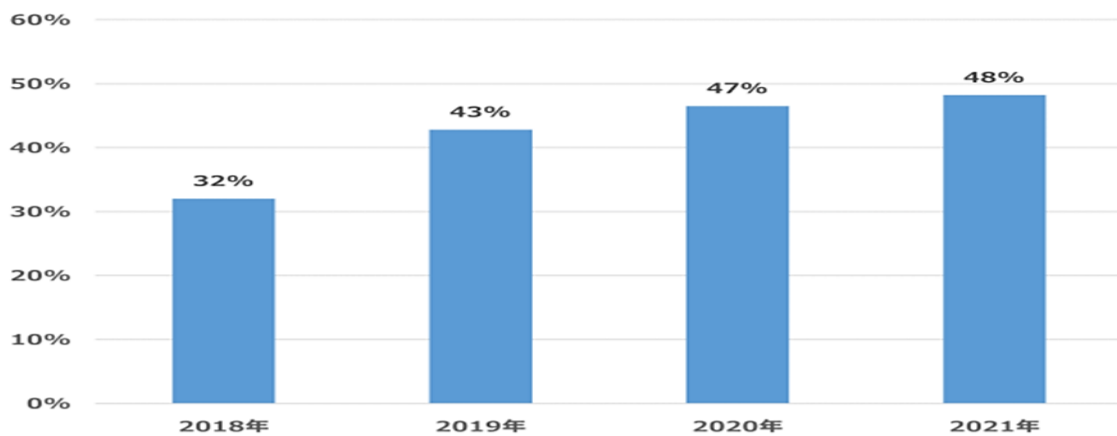
スマートフォンを所有している人のうち、1つ以上防災アプリをインストールしていた人の割合は48%で、2018年の32%から1.5倍となっています。

#### §. シニア層ほどインストール率が高い

防災アプリのインストール率を世代別で見ると、若年層よりもシニア層の方が高い傾向にあります。最もインストール率が高い世代は60代で61%、次に70代で57%、50代で56%でした。

#### §. 最もインストール率が高いアプリは「Yahoo!防災速報」

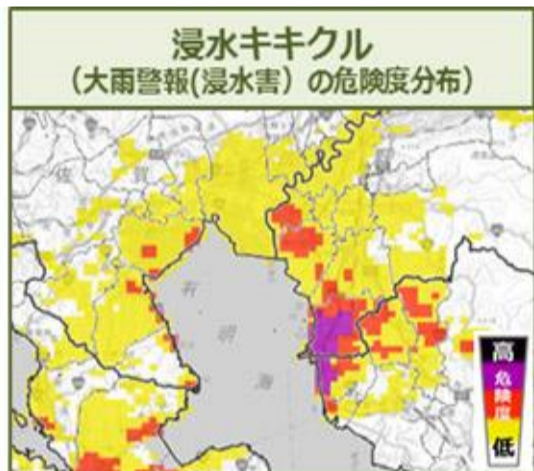
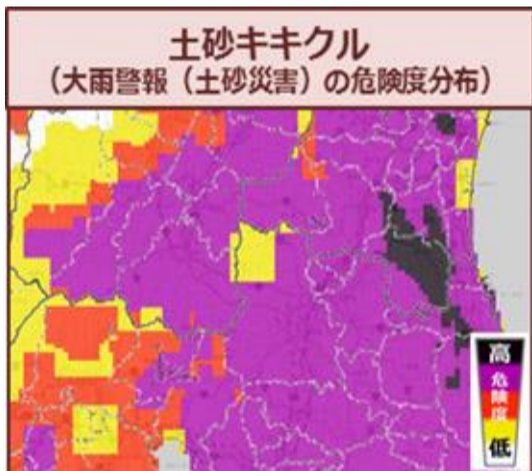
防災アプリ別のインストール率は、1位が「Yahoo!防災速報」、2位が「NHKニュース・防災」、3位が「ウェザーニュース」でした。ただし、この結果は世代別で見ると若干異なります。10代～60代では「Yahoo!防災アプリ」が1位でしたが、70代では「NHK・ニュース防災」が1位でした。



### 「キキクル（危険度分布）」で早めの対応をしよう！

近年、大雨による土砂災害や浸水などが日本各地で発生しています。つい最近も北東北地方で川が氾濫し浸水の被害が出ています。

今、どこで、どのくらい危ないのか？自分の周囲は安全なのか？気象庁では、大雨による災害の危険度の高まりを5段階の色分けで地図上に表示する「キキクル（危険度分布）」を公表（上図参照）しています。災害発生の危険を察知し、安全なうちに避難



するために、「キキクル」の情報がとてもお役立ちます。

「キキクル」は、大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開（検索「キキクル」）されていて無料で使えます。テレビやラジオなどの気象情報で注意報や警報が発表されるなど、大雨による災害が発生するおそれのあるときや、急に激しい雨が降ったときは、このページにアクセスし、最新の情報を入手しましょう。

「キキクル」サイト。携帯で読み取ってください



- ✓大雨による土砂災害の危険度分布は「土砂キキクル」、
  - ✓短時間の強雨による浸水害の危険度分布は「浸水キキクル」、
  - ✓河川の洪水災害の危険度分布は「洪水キキクル」
- で、確認することができます。

「キキクル」における危険度（洪水キキクルの例）



「キキクル」は、災害発生の危険度を5段階に区分し、それぞれ色分けして地図上に表示して、どの場所で、どのくらい災害の危険度が高まっているか、数時間先までの危険度をお知らせする情報です。危険度の情報は10分ごとに更新されますので、こまめにチェックすることで、危険度の高まりを早めにキャッチすることができます。台風の備え、大雨が降ったとき、避難する際の判断にお役立てください。

**9月11日・日曜日、9時より 関ヶ谷自治会「安否確認訓練」を実施します。ご自身やご家族の防災力&共助力を高めるためにぜひご参加ください。詳細は案内チラシを参照**